令和５年度　社会福祉法人凌雲堂　　ＢＳＣ（バランスドスコアカード）

ビジョン	法人の新たな理念が浸透し、ＢＳＣを通じて明確なミッションが定められることにより、やりがいを感じながら働く職員が増え組織が活性化する。 人事交流も盛んに行われるなど法人一体となり運営し、凌雲堂に就職を希望する職員の応募が増える。
実現のために取るべき方策	人財確保を第一優先課題とし、既存の規程（給与・福利厚生等）の見直しを図り、同時に育成、定着を図るためのアクションプランを実践する。 業務の効率化推進を図るため、設備面の整備やＩＣＴ導入などを積極的に進め、同時に職員満足度を高める。

視点	戦略目標	重要成功要因	業績評価指標（KPI）	目標	アクションプラン	備考
財務の視点	安定した財務基盤	事業利益の確保	当期活動収支差額	5％確保	予算計画に沿った確実な運営 予算達成率の常時可視化	地域ニーズ調査 経営管理者育成
	収益性の向上	事業費削減	コスト管理	対前年 5％減少	消耗品仕入れ先開拓 在庫管理システム導入検討 節電対策強化と結果の可視化	利用者負担金値上げ検討
顧客の視点	選ばれる施設運営	アウターブランディング （認知拡大）	顧客満足度調査	満足度 85％以上	サービスの質評価 サービスの標準化 接遇教育 ホームページリニューアル	サービスの付加価値提供検討 （リハ専門職採用など）
業務プロセスの視点	ＩＣＴ導入による 業務効率化	時間外勤務の削減	時間外手当	対前年比 10％削減	タイムスタディ（業務量調査）	
	人財確保対策実施	給与体系の再検討	新規採用数	10 人（年度）	手当関係の見直し 採用活動強化 特定技能外国人雇用検討 シニア層活用検討	扶養手当・通勤手当 福利厚生見直し(公休数) 定年再雇用時の給与支給割合 給与見直し(調理員) 定年年齢延長検討
	中長期基本計画策定	組織（サービス）基盤の強化	中長期計画の BSC 化	中期計画策定（5 年間）	計画策定メンバーの組織化	
	災害・感染症対策強化	BCP（感染症・災害）策定	策定結果	策定完了	災害・感染症対策備品整備 マニュアル整備 定期訓練実施	
学習と成長の視点	能力開発支援 （キャリアアップ）	学習意欲の向上	研修受講数	対前年比 20%増	e-care labo 受講促進 受講履歴の可視化（公表）	人事考課制度再構築
	職員定着率上昇	組織風土改革	離職率	対前年 5%低下	新たな法人理念策定 （インナーブランディング促進）	ベンチマーキング（同業種比較）